

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第3週 (1/13-1/19) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	3週	2週	1週	52週
小児科	18	18	17	17
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	27	27
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	1/13-1/19	1/6-1/12	12/30-1/5	12/23-12/29	1/6-1/12
			3週	2週	1週	52週	2週
小児科	RSウイルス感染症		1 0.06	4 0.22	0 0.00	1 0.06	26 0.20
	咽頭結膜熱		3 0.17	7 0.39	3 0.18	12 0.71	61 0.46
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39 2.17	48 2.67	9 0.53	33 1.94	490 3.68
	感染性胃腸炎		128 7.11	135 7.50	15 0.88	166 9.76	906 6.81
	水痘		2 0.11	9 0.50	2 0.12	8 0.47	102 0.77
	手足口病		2 0.11	1 0.06	0 0.00	8 0.47	24 0.18
	伝染性紅斑		4 0.22	5 0.28	0 0.00	4 0.24	48 0.36
	突発性発しん		4 0.22	9 0.50	1 0.06	9 0.53	34 0.26
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	1 0.06	0 0.00	4 0.03
	流行性耳下腺炎		0 0.00	1 0.06	0 0.00	0 0.00	6 0.05
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	↓★	456 16.29	549 19.61	60 2.22	603 22.33	4,513 21.19
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.06
	流行性角結膜炎	○	5 1.00	2 0.40	0 0.00	3 0.60	21 0.60
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 2.00	4 0.44
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(7件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	IGRA検査	急性脳炎	男性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状
結核	男性	70歳代	病原体の分離・同定	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	40歳代	病原体の分離・同定等
結核	女性	80歳代	IGRA検査等	梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出
結核	女性	80歳代	病原体等の検出	-	-	-	-

*第3週は、結核4件(9)、急性脳炎1件(1)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(1)、梅毒1件(1)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第3週のコメント

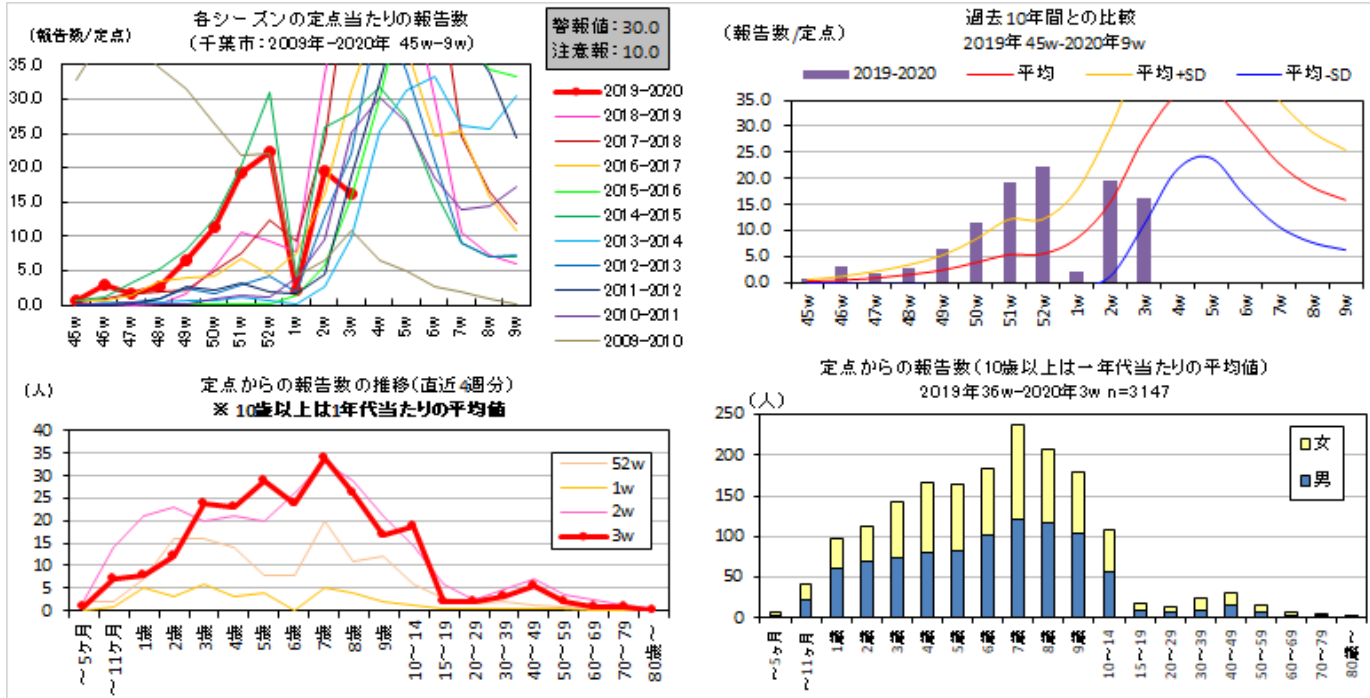
<インフルエンザ> 前週より減少し16.29となった。流行発生注意報基準値を上回ったままだが、過去10年の同期と比べると少なめ。

<流行性角結膜炎> 前週より増加し1.00となった。過去10年の同時期と比べると2018年と並んで最多。

■ トピック ■

<インフルエンザ>

全国レベルの第2週の定点当たりの報告数は18.33となり、流行発生注意報基準値(10.0/定点)を上回ったままで、過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベルとなっています。都道府県別では愛知県、佐賀県、宮崎県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は21.19で、全国レベルと比べると多くなっています。千葉市の第3週は前週より減少し16.29となりました。流行発生注意報基準値を上回ったままですが、過去10年の同時期と比べると少なくなっています。区別の発生状況は、中央区(32.60/定点)で流行発生警報開始基準値(30.0/定点)を上回り最多で、同区の10歳代前半で最も多く、10歳未満では5歳で最も多くの報告がありました。今シーズンである2019年第36週から2020年第3週までの累積報告数は3147件で、性別では男性が51.1%(1607名)、女性が48.9%(1540名)となっており、年齢階級別では7歳(7.6%:238名)、8歳(6.6%:207名)、6歳(5.8%:184名)の順で多く、20歳未満が全体の69.2%(2177名)、10歳未満が全体の49.0%(1541名)となっています。



	第3週	市全体	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区
基準値超過		注意報	警報	-	注意報	注意報	注意報	-
過去10年の同時期との比較		少なめ	少なめ	少なめ	少なめ	少なめ	少なめ	少ない
昨年の同時期との比較		少ない	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない

<流行性角結膜炎>

全国レベルの第2週の定点当たりの報告数は0.67となり、過去10年の同時期と比べるとやや多めとなっています。都道府県別では愛媛県、沖縄県、鳥取県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は0.60で、全国レベルと比べるとやや少なめとなっています。千葉市の第3週は前週より増加し1.00となり、過去10年の同時期と比べると2018年と並んで最多となっています。区別の発生状況は、中央区及び若葉区(2.00/定点)で多く、中央区で20歳代及び70歳代、若葉区で20歳代及び30歳代で多く報告がありました。2020年第1週から第3週までの累積報告数は7件で、性別では男性が71.4%(5名)、女性が28.6%(2名)となっており、年齢階級別では20歳代及び40歳代(共に28.6%:2名)で多くなっています。

